



目指すは高品質栽培と経営の安定化 どんな状況にも対応できる体制を作りたい



輝くみらい人

常盤基幹支店管内

工藤 友和 さん (45歳)

くどう ともかず

○農業を始めた経緯

就農する前から、仕事が休みの日は農作業を手伝うことが多く、いつかは就農する日が来ると思っていました。10年程前に、父から就農を勧められた時、良いタイミングだと思い農業を始めようことを決めました。

○就農当初に感じていたこと

生育が天候に左右されることや、雨の日が続いた時でも作業をしなければならぬことに、自然の厳しさを感じました。雪の重みでりんごの木が折れたこともあり、同じ失敗を繰り返さないよう管理の徹底や対策をするよう心掛けています。

○農業で嬉しかったこと

会社員時代にお世話になった人や、先輩方に農作物を送った時、「すごく美味しかった」などの喜びの声をもらった時が、一番嬉しかったです。その声がやる気につながり、頑張ろうと思えます。

○今後の目標について

現在の栽培面積を維持しつつ、農作物の高品質栽培に努め、経営の安定化を目指します。また、農業資材価格の高騰や米価下落など様々な問題がありますが、どんな状況でも対応できるように体制作りと、息子たちがやりたくなるような農業を目指していきたいです。

